

豊能町公共施設再編に関する基本方針（概要）

1. 基本的な考え方

- ア 人口減少や財政規模に応じた施設規模の適正化を図る。
- イ 統廃合や複合化を視野に入れた施設の有効活用を図る。
- ウ 持続可能なまちづくりに向けた施設の整備を図る。

2. 公共施設再編の基本方針

- ア 様々な交流が生まれ、住民の活動を支え、発展させる機能を有するものとしていくこと
- イ 現在の施設の再編にあたり、重複している機能を統合化し、効率的な施設運営に繋げていくこと
- ウ 西地区、東地区それぞれの地域特性を踏まえ、地区にふさわしい機能を備えたものとする
- エ 必要な住民サービスを効率的に提供することで、住民生活の利便性の向上に繋げていくこと
- オ 将来の町財政負担の軽減が図られること
- カ 住民参加での施設運営や公民連携の視点についても考慮すること

3. 今後の進め方について

- 今後、町において具体的に施設の再編について決定していくが、その際には、住民の立場に立った施設の在り方を考え、住民とも十分意見交換を行い、住民、議会、民間と一体となって取り組むこととする。
- 住民は、納税者であり、公共サービスの受益者であるとともに、町民の財産である公共施設の所有者でもあることから、こうした住民の立場を踏まえ、受益者のみでなく、住民全体で合意形成を目指すものとする。

4. 財政支援措置について

- 令和4年4月から過疎指定を受けたことから、国からの財政支援措置（過疎対策事業債の活用）を財源とする。
- ただし、その活用にあたっては、財政措置があることを期待して施設の規模や機能が必要以上に過大となり、結果として後年度にわたり財政負担が生じる点や、起債償還に充てる財源確保のため、事業の見直しが必要となる可能性がある点に留意する。
- なお、昨今の建設費の高騰を踏まえ、施設整備計画については、その都度、時点修正を行うなど、将来の財政推計を見通しながら、慎重に処理するものとする。

5. 施設マネジメントについて

①施設の管理について

- 再編整備後の施設が多岐に亘る機能を有することとなるため、住民への支援、住民サービスの提供、施設管理などを担う町の組織についても、従来の所属にとらわれず、施設を維持し、機能を十分に発揮できることを目指して検討を行うこととする。
- 施設の設備から管理、運営も含めた民間との連携を考慮するとともに、省エネ性能の検討や長期にわたり良好な状態かつ低廉な費用で使用できる施設建設の手法を検討することとする。

②施設の運営について

- 住民の参加を促進するため、公民館機能のコミュニティセンター化や住民団体やNPOによる指定管理について検討するとともに、民間による活動が適切なものについては、民間との連携を進めることも検討することとする。

○ 西地区の提供すべき機能と施設の集約の考え方

○西地区の中心部に施設が集中し整備されていることが本町の魅力であり、この魅力を維持・増進することを基本に公共施設の再編を進め、施設維持の効率化を図りながら、機能（サービス）を維持する。

○吉川支所、西公民館、図書館、ユーベルホール、豊寿荘、保健福祉センター（すきっぷ、社会福祉協議会事務所も含む）の各施設を集約し整備する。

○集約し整備する施設については、「ふれあい広場から豊寿荘周辺」に新規建設するものとする。

◎集約し整備する施設の現状

施設名	建築年	面積(m ²)	耐震化
吉川支所	S51	777	耐震性有
西公民館	S59	1,902	新耐震基準
ユーベルホール	H4	3,915	新耐震基準
図書館	S60	1,013	新耐震基準
保健福祉センター	S61	883	新耐震基準
社会福祉協議会事務所	H25	176	新耐震基準
子育て支援センター(すきっぷ)	H11	237	新耐震基準
老人福祉センター豊寿荘	S61	589	新耐震基準

○ 東地区の提供すべき機能と施設の集約の考え方

○余野地区周辺に施設が集約されており、各施設が果たしているコミュニティ機能の統合、整理による効果の増進を図るとともに、国民健康保険診療所については、診療所の健康増進に果たす機能を備える方向で検討する。

○中央公民館、国民健康保険診療所、永寿荘、ふれあい文化センター、郷土資料館の各施設を集約し整備する。

○集約し整備する施設については、余野地区の「中央公民館から本庁周辺」に新規建設するものとする。

◎集約し整備する施設の現状

施設名	建築年	面積(m ²)	耐震化
中央公民館	S56	1,259	未実施
郷土資料館	S11	371	未実施
老人福祉センター永寿荘	S54	566	未実施
ふれあい文化センター	S46	420	未実施
国民健康保険診療所	S62	599	新耐震基準